

津山高専ジュニアドクター育成塾令和2年度受講応募課題用紙

応募する児童生徒の氏名： 津山 高太郎

学年：小学校／中学校 1 年生 性別： 男子／女子

学校名／所属団体名： ジュニアドクター中学校

推薦者氏名（保護者、学校、所属団体の方）： ジュニアドクター中学校 理科教員 神楽尾 山美

「未来の科学技術への私のゆめ、僕のゆめ」イラストや図や文章などを使って自由に自分の考えをあらわしてください。

記入例

（自由に表現してください。例を以下に示しますので参考にしてください。あまり良い例ではないかもしれませんが、表現の自由度を示すための例とってください）

世界の人口が増えて、2017年に70億人、現在が80億人、2050年には100億人を超えると予想されています。人口が増えると食糧が足りなくなります。ぼくは世界の食糧問題を解決するために、人間も植物と同じように光合成ができると良いと思います。植物は太陽の光のエネルギーを利用して、地中の水分、空気中の二酸化炭素から炭水化物を合成します。地上の生物はほぼすべて、植物の光合成で固定化されたエネルギーで生活しています。ぼくたち人間も植物や植物を食べて成長した家畜や魚を食糧としています。石油や石炭といったエネルギーはもともと太古の植物の光合成で作られたものなので、結局は太陽のエネルギーを植物の光合成で固定化して蓄えていたものを使っていることになります。

運動したり勉強したりするとお腹がすきます。もし人間が植物と同じように光合成ができれば、太陽の光を浴びるだけでお腹がいっぱいになることができます。これで食糧問題を解決できます。また、空気中の二酸化炭素を吸収するので地球温暖化ガスの削減にも効果があります。

ぼくは、将来、人間が光合成を行えるように、人間の細胞に葉緑体を遺伝子操作で入れることを研究してみたいと思います。ユーグレナという単細胞生物は葉緑体を持っているので植物でもあり、鞭毛による運動をおこなうので動物でもあります。進化の途中で植物は光合成で自らエネルギーを生産できるので動くことを止め、光合成を行わない動物はエネルギーを得るために動き回ることを選択したのだと思います。人間が光合成をできるようになると動かなくなってしまうと心配する人もいるかもしれませんが、ぼくは、ユーグレナのように人間の細胞に葉緑体を持たせることができれば、人間はより知的な活動に専念できると思います。



昼食中のてくにゃん